

あなたは昨年立てた目標がきちんとできてでしょうか。私達は「こうするぞ」と目標を立てますが、1年が終わるとその目標がいつのまにかなくなり新たな目標になったり、目標なんか立てていなかったということが多くないでしょうか。目標を立てても忘れ、それを忘れた上で新たな目標を立てるこのようになっていませんか。「こう生きると決めた、でもこの部分かができなかった、だから今年はこれを伸ばそう」このようにして新たな目標はできていきます。このように私たちの計画は一時のものではありません。「昨年この部分がだめだった、だからここを治そう」古い悪いものに重きを置いていたらこのようになってしまいますがこれではよくありません。今年は私たちの見る目標を変えて、「5ヵ年計画」でいってほしいのです。(ヨハネ5:7) 長い間病んでいた人がいました。彼はずっとベテスダの池に入りたかったが入れませんでした。そこにイエス・キリストが来て「よくなりたか」と尋ねた時彼が言った言葉が「私には、水がかき回されたとき、池の中に私を入れてくれる人がいません。」でした。彼の目標はベテスダの池に入ることでした。でも入れなかった・・・目標は立てただけできなかったのです。彼ができなかった理由は、「自分が入れない」でなく、「入れてくれる人がいない」だったからです。この姿は私たちとよく似ています。「幸せになりたい。でもしてくれる人がいない」これでは一生このままです。「先見之明」あなたは昨年1年間今日を想像して生きていたでしょうか。それともその日その日を生きているのが精一杯だったでしょうか。後者なら、この病人と一緒にかもしれません。あなたは目標を掲げたときにどのようなメリットがあるか考えて立っていますか。1年サイクルでは、確かにちょっとずつは成長します。でもそれではもったいないのです。せっかく作るのであれば、「ちょっと」ではなくすばらしいものを作って欲しいのです。あなたは「先見」があるのでしょうか。それには直面している情報を見てどれくらいの可能性を見られるかが大切です。今は少し捜せば情報があり、発想しなくても生きていける時代になりました。だから私達は先を見られなくなり、計画を立てるが達成することができなくなってしまっているのです。聖書ではこれを「実を結ばない者」と言っています。種は植えても葉をならせることができない、葉があっても茎を伸ばすことが出来ない・・・それぞれ断片的で計画性がないのです。今のこの状況を変えていかないといけません。世の中では「直感を大切に」と言っています。あなたは直感を感じるでしょうか。その日暮らしをしていたら直感を感じることもないでしょう。問題を解決する生活から回避する生活にしてください。何事も結果オーライではなくプロセスが大切です。今あなたのプロセスが成り立っているかどうか、昨年を見て判断してください。あなたの問題は昨年クリスマスツリーにかけました。だからそれは1年間どのように生きてきたか判断する材料にしてください。悪かったことを認めた上で、そこに縛られる人生ではなくそれを置いて新しい計画を立てて歩む人生にしてもらいたいです。聖書に出てくるヨシュアは、モーセにカナンの地に先遣隊として送られたとき不毛で荒れた土地を見て「乳と蜜の流れる地」だと言いました。彼が見ていたのは今の不毛の地の現状ではありませんでした。みんなが考えない時代にあってあなたは考える人になってほしいのです。先見を持つことはとても大事です。今から先を見る力を身につけなくてははいけません。世の中に必然はありません。不毛の地であってもプラスになります。このとき民はエジプトにこだわっていましたが、ヨシュアはこだわっていませんでした。あなたが変えてください。(イザヤ 65:16) あなたは今年、新しい世界を想像していますか。「これまでのものは捨て新しいものを創造する、だから主にあって祝福されたものとなる」こう信じて歩めばあなたの人生は変わります。先見のある生活をするために①先見は現状から生まれない。今の現状にとどまっていたのは先見性なんてありません。なぜなら今の現状はストレスだからです。悪い考えがあなたの上にある中で新しい考えなんて生まれません。否定的な現状はリフレッシュしてください。そのためにイエス・キリストはあなたの罪を背負って十字架に架かりました。重荷を委ねてください。②さばきからは生まれない。(1コリ4:5) 自分以外の人を見てどういう価値観を抱いていますか。先見性は否定的な目線からは生まれません、あなたに関するすべての環境(人)に対してどうイメージを持っているでしょうか。自分によくしてくれる人には誰でもよくできますが、それ以外の人、特に自分に対してあまり良くない態度で接してくる人に対してどういう価値観を持っているでしょうか。もし裁くことをしているのであればその裁く心からあなたも相手に裁かれます。「やみの中に隠れた事も明るみに出し、心の中のはかりごととも明らかにされます。」(1コリ4:5) 相手に対する価値観、特にあなたに対して悪い人に対する価値観を変えなくてははいけません。あなたはその人を通して変えられることが多いからです。先見とはあなたが会おう全ての人からどれだけ先のことを見ることができるかです。あなたは自分の周りの人や初めて出会った人に対してどういう先が見えますか。それは自分のためだけでなく、その人に対してもどれだけすばらしさを見出すことができるかが大事です。そうすれば相手に対して偽った態度で接する必要はなくなり、本当に心を開いて接すれば解決しないことはほとんどありません。だから裁く心をとれば各人に称賛が届くのです。まず相手に裁く心をとみましょう。③あなたの願いは主に。(マタイ6:7, 8) 願った願いは叶えられると信じてやるのが大切です。私たちの願い事はいつも自分の前にあることが多いのですが、あなたの願いを主において置かなくてははいけません。求めることは大事ですが、求めた祈りはすでにあなたのところに届いています。だから私たちは求めたことを主にゆだねて、信じたことを実行することが大事です。あなたがそのチャンスをつかむかどうかです。ベテスダの池にいた病人も求めてはいました。願っても受けられないものにならないでください。いつ来てもいいように願うのではなく願ったら与えられると信じて備えることが大切です。生き方を変えましょう。問題が起こってから回避してチャンスを失うのではなく、問題を回避しておいてチャンスをつかむようにしていきましょう。この1年心の信念を持って変えてください。その信念とは5年後の自分の姿です。それは必ずなると信じ今年1年何をすべきか考えて歩いていきましょう。(要約者：岩崎祥誉)